

この本読んで!

芸術の秋に鑑賞したい

ARTな絵本

手遊び・歌遊びも

新しい

赤ちゃん絵本

2022

秋

第84号



もう読んだ? **新刊100冊!!**

絵本作家のブルース **長谷川義史**

こんにちは! 絵本作家さん **刀根里衣**

子どもたちの未来と
SDGs絵本

対象別 **おはなし会プログラム**

特別付録 お役立ち! おはなし会カレンダー

芸術の秋に鑑賞したい

心と感性を豊かにしてくれる絵本。その中でも1枚の絵画を見ているような、美しい絵本と、美術を理解するための絵本を60冊集めました。
また、画家であり、絵本作家でもある堀川理万子さんに、数々の賞を受賞した『海のアトリエ』と、ARTについて伺いました。

ARTな絵本

Exhibition
Ticket

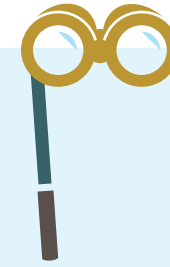


『おもいで星が
かがやくとき』
作／刀根里衣
1,760円 (NHK出版)

ピナの大切なひとは、お星さまになりました。そのお星さまを探してたどりついた、空に届きそうな木の上で、いちばん星がピナのお星さまのことを教えてくれました。



『あおのじかん』
文・絵／イザベル・シムレール
訳／石津ちひろ
1,870円 (岩波書店)
日が沈み、夜が訪れるまでのひとときが、青の時間です。青カケスが声を上げたらはじまりの合図。アオガラやモルフォチョウなど、青の生きものたちが動きだします。



『よるのむこう』
作／nakaban
品切れ中 (白泉社)
夜の闇の中、列車が走ります。窓の向こうに通りすぎていく町の明かり、香り立つニレの森。夜が明けるころ、たどりついた駅から歩いていけば、目の前に広がる海。家はもうすぐです。

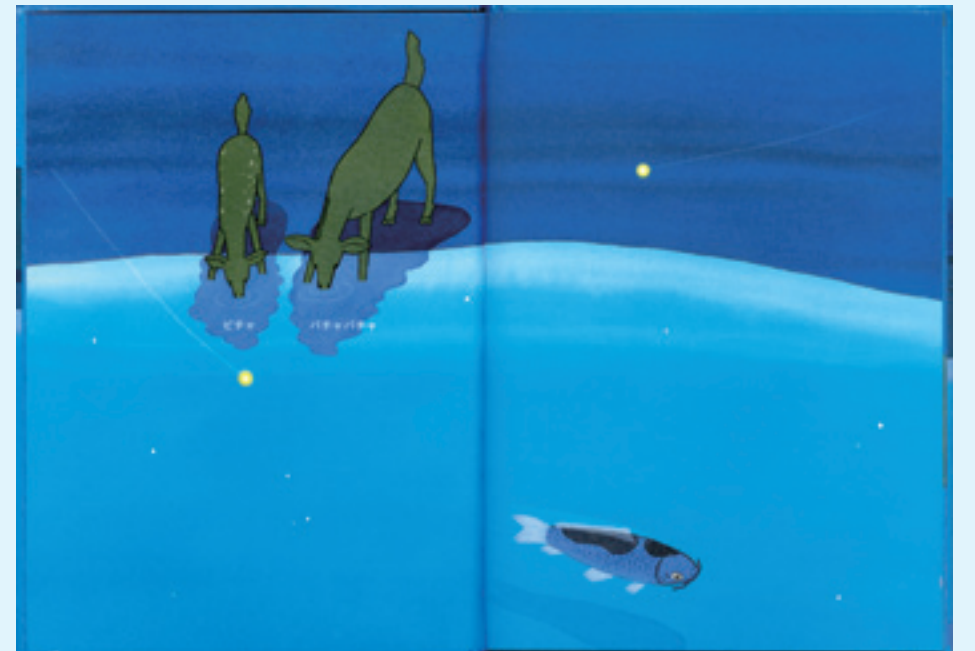


『夜をあるく』
作／マリー・ドルレアン
訳／よしいかずみ
1,760円 (BL出版)

約束の夜、暗闇の中を家族みんなで出かけました。ひっそりとした森の中を進み、空き地では寝転がって星空を見上げます。岩をのぼったどりついた頂上から見えたのは、言葉を失うほどの光でした。

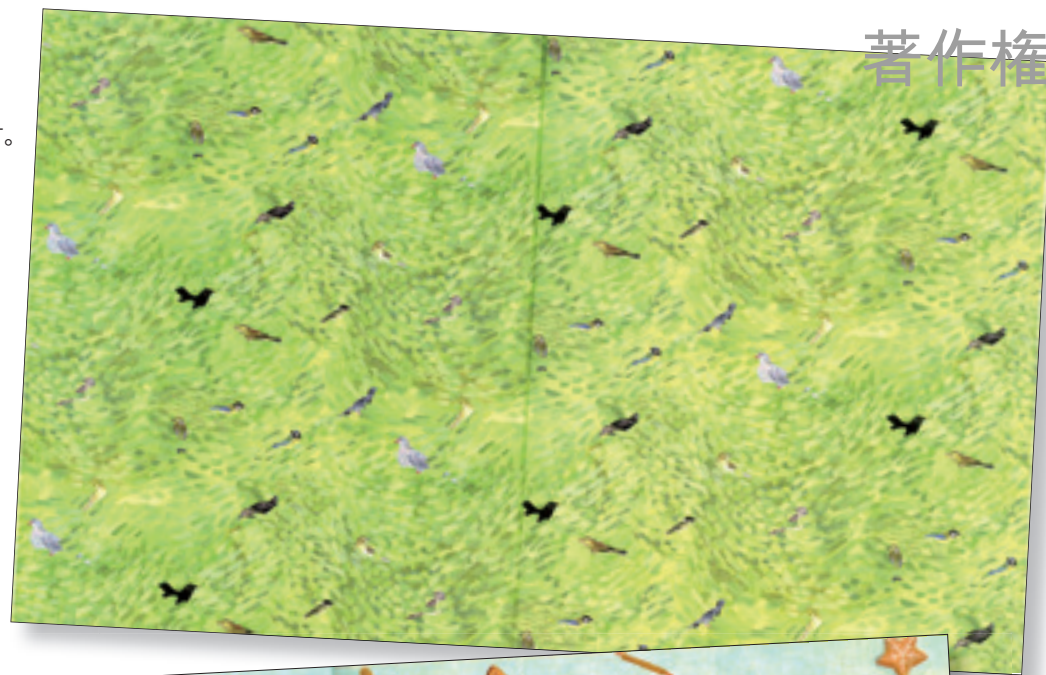


『よるのおと』
作／たむらしげる
1,540円 (偕成社)
月がのぼる夜空の下、男の子がおじいちゃんの家に行ってきました。家の前の池では、虫の音、カエルの鳴き声、水の音が響きわたります。絵からも夜の静けさが伝わってきます。



『のねずみくんの
もりの1ねん』

絵本の詳細は P46にあります。



『みつばちさんの
ティールーム』

絵本の詳細は P46にあります。



『なきむし せいとく』

絵本の詳細は P46にあります。



著作権保護コンテンツ

不定期連載10 //

見返し美人



2年半ぶりとなる、この連載。今回は、「新刊100」の中から美しい見返しをご紹介します。
P18～19では、表紙側の見返しと裏表紙側の見返しが違うものや、ストーリー性のあるものをご紹介します。

タイトルイラスト／アンヴィル奈宝子

『おとうとが
おおきくなったら』

絵本の詳細は P46にあります。



『ジェニーのぼうし』

絵本の詳細は P43にあります。



『ディラブディ』

絵本の詳細は P48にあります。

著作権保護コンテンツ



乗りもの



『めくってパタパタしかけえほん くるまどこどこ？』

作／La ZOO 絵／西片拓史
1,430円（交通新聞社）

町の中、工事現場、空、線路……。男の子が赤い車を探しています。ページを開くたび、めくって楽しい仕掛けがいっぱい。赤い車は、見つかるかな？ 一緒に探してね。



『でんしゃでどうぶつえん』

作／丸山誠司
1,100円（交通新聞社）

頭に帽子をのせたでんしゃくんが、動物園を走ります。がたこーん、がたこーん、でこぼこーん、でこぼこーん。おや、どこを走っているの？ オノマトベの楽しさもいっぱい。

『のりもの いっぱい』

作／浦中こういち
1,100円（クレヨンハウス）

消防車といってもいろいろな種類があります。配達の手や警察の手も、用途によって形や大きさもまちまちです。そんな、同じ仲間だけど異なる車両を見開きで比べながら楽しめます。



『こうじしてます こつこつこーん』

作／視覚デザイン研究所
絵／くすえたくし
990円（視覚デザイン研究所）

みどりまちに工事車両が集まり、テーマパークをつくっています。高所作業車を上から見たり、クレーン車を見上げたり、視点が新鮮！ 子どもの成長とともに細かい描写も楽しめるようになるでしょう。



『だっこでんしゃ』

作／さこももみ
1,045円（交通新聞社）

駅のホームで動物と人間の赤ちゃんが電車を待っています。お父さんやお母さんに抱っこしてもらったら、出発進行！ 次の電車は誰かな。わが子を抱きしめなくなる1冊です。



『ポッポーきかんしゃ よるさんぽ』

作／とよたかずひこ 990円（アリス館）

眠れなくて泣いている赤ちゃんとヒツジさんに乗せて、ポッポー機関車が夜のお散歩に出発します。ガタンゴトン、機関車に揺られて、夢の中へ。ねんねをイヤイヤする夜に。



『いちといちで』

文／もぎあきこ 絵／森 あさ子
990円（世界文化社）

アメリカ民謡「10人のインディアン」のメロディにのせて楽しめる、数え歌の絵本です。遊び方がわかる公式動画あり。生きもののシルエットを使って、なぞなぞも楽しめます。

『こうさぎ ぽーん』

文／麦田あつこ
絵／森山標子
935円（ブロンズ新社）

いたずら子ウサギが跳ねたり、転がったりしながら遊んでいます。かくれんぼをしていたら、母さんウサギに見つかった。さあ、逃げろ！ ラストの場面に癒やされます。



『あかちゃんですよ はいどうぞ』

文／うしろよしあき 絵／鈴木智子
1,100円（アリス館）

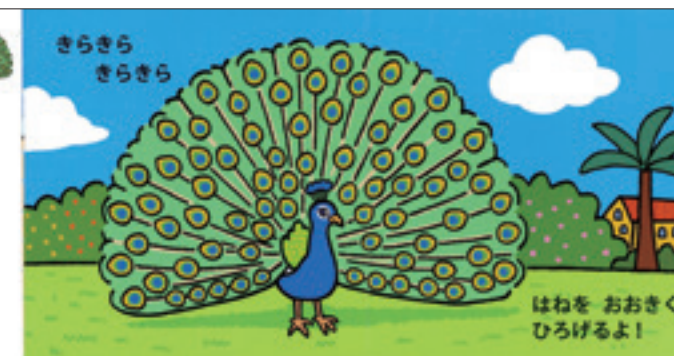
動物たちが人間の赤ちゃんをリレーしながら運びます。カンガルーのお母さんは袋に入れて、クマはおんぶして。キリンの首をすべりおりたら、終点はママとパパのところ！



『すごい！ どうぶつパーク』

作／いしかわこうじ 1,045円（童心社）

かけっこが得意なチーターが描かれています。仕掛けをめくると走るチーターの姿が！ 白クマ、ライオン、クジャクにクジラ。ワニやゴリラ、キリンはどう動くでしょう。



『もふっ』

作／ふじいともみ
1,100円（アリス館）

ネコさん親子はとことこ散歩。ウサギさん親子はピョンピョン追いかけて。ラッコさん親子はプカプカ泳ぎの練習中。みんな仲よし親子でもふっ！

新刊



『ながいながいねこのおかあさん』

文／キューライズ 絵／ヒグチユウコ 1,320円（白泉社）

母さんネコは体が長ーいんです。風の強い日、子ネコは母さんネコのしっぽまで飛ばされてしまいます。一生懸命走っても、なかなか母さんネコの顔までたどりつけません。でも、最後はホッ。

『な〜んだ？』

文・絵／ヒド・ファン・ヘネヒテン
訳／たけうちとしえ
1,155円（パイ インターナショナル）

「な〜んだ？」のテキストに合わせて仕掛けをめくると、きのこのかがさがテントウムシに、木の枝はシカの角に大変身！ パナナは何に変身するのかな？ 英文つきです。



子育て中のパパ・ママへ この1冊

新刊



『あかちゃんといっしょ』

作／えがしらみちこ 監修／大日向雅美
1,320円（白泉社）

とまどいや不安、かけがえのない存在へのいとおしい思い。作者の育児日記をもとに赤ちゃんとの日々を描いた、宝石箱のような絵本です。子育て中の人はもちろん、卒業した人にも。

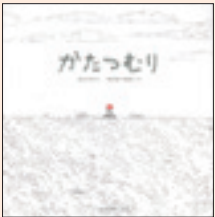
著作権保護コンテンツ

今号の 注目

『かたつむり』

作／キム・ミヌ
訳／わたなべなおこ
1,540円(あすなろ書房)

お兄ちゃんたちを追いかけ
ていた男の子は、石につまず
いて転んでしまいました。
「みんなだいきらいだ!」と
叫んだとき、偶然見つけたカ
タツムリを追って木に登っ
たら、素敵なものを見つけま
した。



訳者のわたなべなおこさんから

ことばの少ない絵本なので、訳しながらいつも以上に絵をじっくり見ていました。風に揺れる柳、小川を泳ぐカモの親子、1羽だけ遅れてしまったカモの子ども……。いつの間にか絵の中に入り込んで、小さな足こぎ自転車で走る男の子と、弟のことが気がかりで後ろを振り返ってばかりいるお兄ちゃんをそと後ろから見守っているような気持ちになりました。子どもたちが成長していく途中の、かけがえのない一瞬をとらえた絵本です。

『かわいいうさぎ』

作／直見芽以子
1,760円(岩崎書店)

「ああ うさぎ わたしのうさぎ なんて
かわいいんでしょう なんてこんなに
かわいいんでしょう」。大きな目には夜
の湖が広がり、しっぽにはタンポポの
綿毛がそよいでいます。ウサギをどん
なに愛しているかが伝わってきます。



『ことりになったら』

作・絵／ひらてるこ
1,540円(岩崎書店)

小児病棟に入院している子どもたち
は、つらい毎日だけを過ごしているわ
けではありません。友だちとも一緒に
遊ぶし、ときには、ケンカもします。病
院の中で過ごした日々を、おーちゃん
の目を通して描きます。



『ぬいぐるみ きゅうじょたい』

文／ティエリー・ロブレヒト
絵／デイヴィッド・B・ドレイパー
訳／川野太郎
1,430円(岩崎書店)

SOS! 迷子になったぬいぐるみのク
マくんを発見。ぬいぐるみ救助隊の本
部へ連絡します。クマくんは腕をなお
すため、ぬいぐるみ病院へ。すっかり元
気になったクマくんですが、ちゃんと
おうちに帰れるかな?



『お祭りが大好き バヤベくん』

文・写真／長倉洋海
1,540円(アリス館)

バプアニューギニアに住む3歳のバヤ
ベくんは、明日からのシンシン祭が楽
しみでたまりません。フリ族は自分の
髪でつくったカツラに、色とりどりの鳥
の羽をさして飾ります。いよいよ800
の部族が集うお祭りの始まりです。



『プールのくまのこ』

作／種村有希子
1,430円(アリス館)

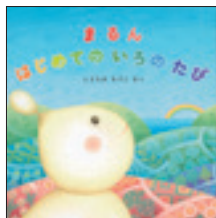
夏の朝、れいちゃんがお気に入りのク
マの模様のプールのをのぞき込むと、ク
マたちが泳いでいました。びっくりし
たけれどうれしくて、遊び疲れるまで
夢中になって、一緒に楽しい時間を過
ごします。



『まるん はじめての いろの たび』

作／とどろき ちづこ
1,650円(イマジネーション・プラス)

まるんは虹の子です。将来きれいな虹
をかけるために、たくさん色を集め
る旅に出ました。季節はめぐり、まるん
は冬の森でお友だちに見送られ、長い
旅を終えます。家に帰るとお母さんが
笑顔で待っていました。



『みんなでおふろ』

文／ダイアン・マルドゥロー
絵／デイヴィッド・ウォーカー
訳／中井はるの
1,100円(イマジネーション・プラス)

なぜお風呂に入るのか? 体をきれい
にするのは、元気に暮らすために大事
なことだから。ネコやゴリラやウサギ
など、動物たちは、お風呂に入るのとは
別の方法で、体をきれいにしています。
その様子を、見てみましょう。



『やまなし Mountain Stream』

文／宮沢賢治
英訳／アーサー・ピナード
絵／山村浩二
2,200円(今人舎)

小さな谷川の底を映した幻燈から、カ
ニの兄弟の会話が聞こえてきました。
新聞に発表されてから1世紀を経た物
語の中の「クラムボン」の意味するもの
は何でしょう? 賢治の名作を日本語
と英語で読むことができます。



『はっこう(発酵) 地球は微生物でいっぱい』

写真・文／小川忠博
監修／横山和成
2,200円(あすなろ書房)

人間に役立つ微生物の働きを「発酵」と
いいます。土や水、食べものや体の中な
ど、地球上のあらゆる場所に存在する
微生物。美しい写真とわかりやすい文
章で、さまざまな微生物と発酵の秘密
を知ることができます。



『みらいのえんそく かざんのしまへ』

作／ジョン・ヘア
文／椎名かおる
1,540円(あすなろ書房)

噴き出す間欠泉や流れるマグマを見な
がら山に登って火口を見学し、子ども
たちは大喜びです。ところがひとり、火口
にすべり落ちてしまいました。そこでは
誰かがこちらをのぞいていますよ。み
んなのところへ戻れるでしょうか。



『はる なつ あき ふゆの たからさがし』

作・絵／矢原由布子 監修／鈴木 純
2,090円
(発行:アノニマスタジオ 発売:KTC 中央出版)

5歳の女の子、むくとお母さんはお散
歩が大好きです。いつも通る道も毎日
違ってきます。季節によって異なる色
とりどりの草や花や木を見つけること
は、宝探しのよう。今日はどんな宝物が
見つかるかな。



『あかちゃんがきた!』

作／サトシン
絵／松本春野
1,430円(アリス館)

けんちゃんの家、楽しみに待ってい
た赤ちゃんがやってきました。頭をな
でたり、ほっぺをくすぐったり。だけ
ど急に泣きだしてびっくり! お兄ちゃん
がなんとかしてあげる! 赤ちゃんは泣
きやんでくれるでしょうか。



『おいなりさん』

文／もとしいづみ
絵／中川 学
1,540円(アリス館)

頭がいなりずしのおいなりさんは、書
道教室の先生です。朝になると身なり
を整え、はたきをかけて、茶がらで掃き
掃除。そうさんがけは腹に力をこめて
やればきれいになります。おいなりさ
んの暮らしは工夫がいっぱい。



もう 読んだ? 新刊 100!!

2022年3～5月に発売された新刊絵本の中から、
読みきかせにもおすすめの100冊を選びました。
子どもたちと素敵な時間を過ごしてください。

※出版社五十音順 ※㊦は右開きの本。

㊦ マークは乳幼児から、㊦ は中・高校生も楽しめる本です。

定期購読者限定プレゼント

新刊絵本プレゼントの詳細は、このページの下欄をご覧ください。

『シロのきもち』

作・絵／内田かずひろ
文／柊野浩一
1,540円(あかね書房)

シロはさぶろうの家族と仲よく暮らし
ている白いイヌです。毎日イヌの言葉
で話しかけているのですが、言いたい
ことをわかってもらえません。でも、お
父さんだけはわかってくれました。シ
ロはカバンを持つお手伝いをしたかつ
たのです。



『わたしのかぞく みんなのかぞく』

作／サラ・オレアリー 絵／チン・レン
訳／おつかのりこ
1,760円(あかね書房)

「自分の家族のとおきのお話を聞か
せてね」と先生が言いました。どんな話
をしたらいいのでしょうか? クラスのみ
んなは、それぞれ家族の形は違っても
素敵な話をしてくれました。私も、もう
心配しないで話せます。



『神社のえほん』

作／羽尻利門
1,540円(あすなろ書房)

お正月、初詣に神社へ行ったらほくは考
えました。神社って、何のためにある
の? じいちゃんと一緒に神社に行っ
て、参拝の仕方、お祭りのこと、宮司さ
んはじめ働く人たちのこと、そしてほ
くたちとの関係、いろんなことがわか
りました。



※JPIC直販の定期購読の方に、抽選で新刊絵本100冊から1冊をプレゼントします。巻末のアンケートハガキまたはホームページのアンケートフォームから応募してください。

著作権保護コンテンツ

プログラム (各 10～15分) 小学校高学年

10月 テーマ: ^{かな な づき} 神無月です。神さまはどこに？

①『かむさりやまのおまじない』

原作／三浦しをん 文・絵／山岡みね
1,650円 (徳間書店)

日本にはたくさんの神さまがいます。さんたは山の神さまと出会い楽しく遊びます。でも、秋は一緒に遊べませんよ。なぜだかわかる？



②『オニのサラリーマン しゅっちょうはつらいよ』

文／富安陽子 絵／大島妙子
1,540円 (福音館書店)

10月、出雲で神さま会議が行われます。オニのサラリーマンは、出張してお手伝いに！ にぎやかで愉快な会議です。右綴じの縦書きです。



11月 テーマ: 旅に出よう！

①『ぼくのたび』

作／みやこあきこ
1,650円 (ブロンズ新社)

ホテルマンのぼくは、世界中のお客さまを迎えます。旅に出るのは夢の中！ やさしい色合いの絵本。素敵な見返しもゆっくりと見せてね。



②『よあけ』

作／あべ弘士
1,650円 (備成社)

おじいさんと孫が原生林を流れる川を旅します。自然の壮大さが迫力のある絵から伝わります。本の中で旅を楽しむこともできるのですね。



12月 テーマ: クリスマスから新しい年へ

①『ひとりぼっちのもみの木』

作／クリス・ネイラー・バレストロス 訳／江國香織
1,540円 (BL出版)

クリスマスの前日、ひとりぼっちのモミの木に奇跡が起ります。小型の絵本なので、じっくりと読んで文を味わってもらいましょう。



②『12月26日のクリスマス』

作／ひろたまお 絵／こやとこう
1,320円 (文芸社)

クリスマスの翌日はサンタさんに感謝する日。「ありがとう」を伝えるために、少女がイヌと冒険に出ます。あたたかい気持ちがあふれます。



③『うさぎじかん』

作／刀根里衣
1,650円 (NHK出版)

来年の干支にちなんで、ユーモアたっぷり、ふんわりの「うさぎじかん」を楽しんでください。



(畠山英理子)

プログラム (各 10～15分) 小学校中学年

10月 テーマ: 詩にふれてみよう

①『詩って なあに？』

作／ミーシャ・アーチャー
訳／石津ちひろ
1,650円 (BL出版)

動物たちとの対話から、詩が生まれる気づきの瞬間が少年に訪れます。詩作のきっかけづくりに国語の時間に教室で読みたい1冊です。



②『せんねん まんねん』

詩／まど・みちお
絵／柚木沙弥郎
1,650円 (理論社)

時の流れに、めぐりつながらあう「いのち」。目に見えぬものにも心を寄せる詩人の、深く広い世界を絵の力とともに感じとりましょう。



11月 テーマ: 干してみたら…

①『干したから…』

写真・文／森枝卓士
1,540円 (フレーベル館)

干したものは自然の恵みと人の工夫の結晶。身近なものから世界の珍干物、干す前と干したあとの違いや加工法まで、豊富な写真で紹介されています。



②『ほしじいたけ ほしばあたけ』

作／石川基子
1,430円 (講談社)

崖から落ちた子を救おうとほしじいたけが大活躍。水を得て変身！ 若返りパワー全開！ 実物(水に戻す前後)を見せるのも効果的です。



12月 テーマ: プレゼントは？

①『おおきなクマさんちいさなヤマネくん ふゆじたくのおみせ』

作／ふくざわゆみこ
1,320円 (福音館書店)

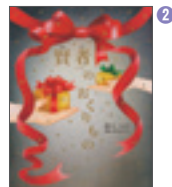
相手を思い、喜ぶ顔を見たいと贈りものの調達に奔走する2匹。心あたたまる展開が素敵です。



②『賢者のおくりもの』

原作／オー・ヘンリー 文・絵／いもようこ
1,540円 (金の星社)

大切なものを手放し、相手にふさわしい贈りものを選んだ夫と妻。互いを慈しむ心がせつなく描かれる、静かな聖夜に読みたい名作です。



③『12つきのおくりもの』

スロバキア民話より 文／石井睦美 絵／メグホソキ
品切れ中 (フレーベル館)

吹雪の森で出会った12月の精たちが杖をふるうと冬が春に、夏に、秋に……。スロバキア民話のシンデレラストーリーをあなたに。



(森本佳代子)

プログラム (各 10～15分) 小学校低学年

10月 テーマ: やさしい気持ちになれる本

①『にんきもの いちねんせい』

絵／つちだのぶこ
1,430円 (小学館)

友だちのいいところを見つけ、自分のいいところもつけてもらう、やさしさにあふれた成長物語。



②『うごきません。』

作／大塚健太 絵／柴田ケイコ
1,485円 (バイ インターナショナル)

ハシビロコウという鳥はどんな動物が近くを通っても全然動きません。では、いつ動くのかな？



11月 テーマ: ハラハラ、どきどき！

①『はじめてのおるすばん』

作／しみずみちを
絵／山本まつ子
1,430円 (岩崎書店)

3歳のみほちゃんが、はじめてひとりでおるすばん。不安とどきどきで胸があつくなります。



②『たぬきのいとぐるま』

文／松岡 節 絵／狩野富貴子
品切れ中 (ひかりのくに)

いたずらタヌキとおかみさんとの糸をつむぐ交流が、心をあたたくしてくれます。



12月 テーマ: 冬の物語

①『おおはくちょうのそら』

作／手島圭三郎
1,870円 (絵本塾出版)

病気の子を残して北国へ飛び立たなければならぬオオハクチョウの家族。自然の厳しさと家族愛が、木版画から伝わってきます。



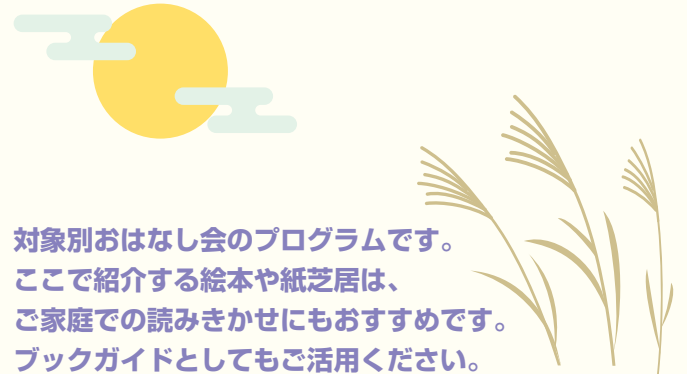
②『クリスマスの ころわん』

作／間所ひさこ 絵／黒井 健
1,320円 (ひさかたチャイルド)

クリスマスの夜に拾ったサンタさんの帽子。おれにお星さまをもらってウキウキした気持ちに。



(鶴見美佐子)



対象別おはなし会のプログラムです。
ここで紹介する絵本や紙芝居は、
ご家庭での読みきかせにもおすすめです。
ブックガイドとしてもご活用ください。

行事絵本・季節の絵本

読書の秋

『モリス・レスモアとふしぎな空とぶ本』

作・絵／ウィリアム・ジョイス 訳／おびかゆうこ
1,650円 (徳間書店)

ある日、激しい風ですべてを失ってしまったモリスは、不思議な空飛ぶ本に導かれて、本たちが住む館にたどりつきました。



勤労感謝の日

『メアリー・スミス』

作／アンドレア・ユーレン 訳／千葉茂樹
1,540円 (光村教育図書)

世の中には、実にさまざまな仕事があります。めざまし時計がまだ少なかったころ、イギリスに実在した仕事。道具は、豆とゴムのチューブです。

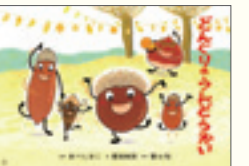


紙芝居

『どんぐりのうんどうかい』

脚本／あべしまこ 絵／夏目尚吾
1,540円 (童心社)

どんぐりえんの運動会が始まりました。どんぐりダンスに落ち葉のぼり、元気に走っていたら、帽子が風に飛ばされてしまいました。



紙芝居

『いもほりチャンピオン』

脚本／すとうあさえ 絵／岡本よしろう
1,540円 (童心社)

タヌキはあちゃんのいも掘りを、クマちゃんとウサギちゃんが手伝います。タヌキはあちゃん、いものつで冠を作ってくれました。



紙芝居

『ろくじいさんのゆずおふろ』

脚本／すとうあさえ 絵／早川純子
2,090円 (童心社)

ろくじいさんのゆずの木に、実がたくさんなりました。冬至の日、ゆずを分けてもらおうとおばあさんがやってきます。その様子をサルたちが見ていました。



(安富ゆかり)